



2012年度(2013年 3月期) 第4四半期 決算説明会

2013年 4月30日

セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

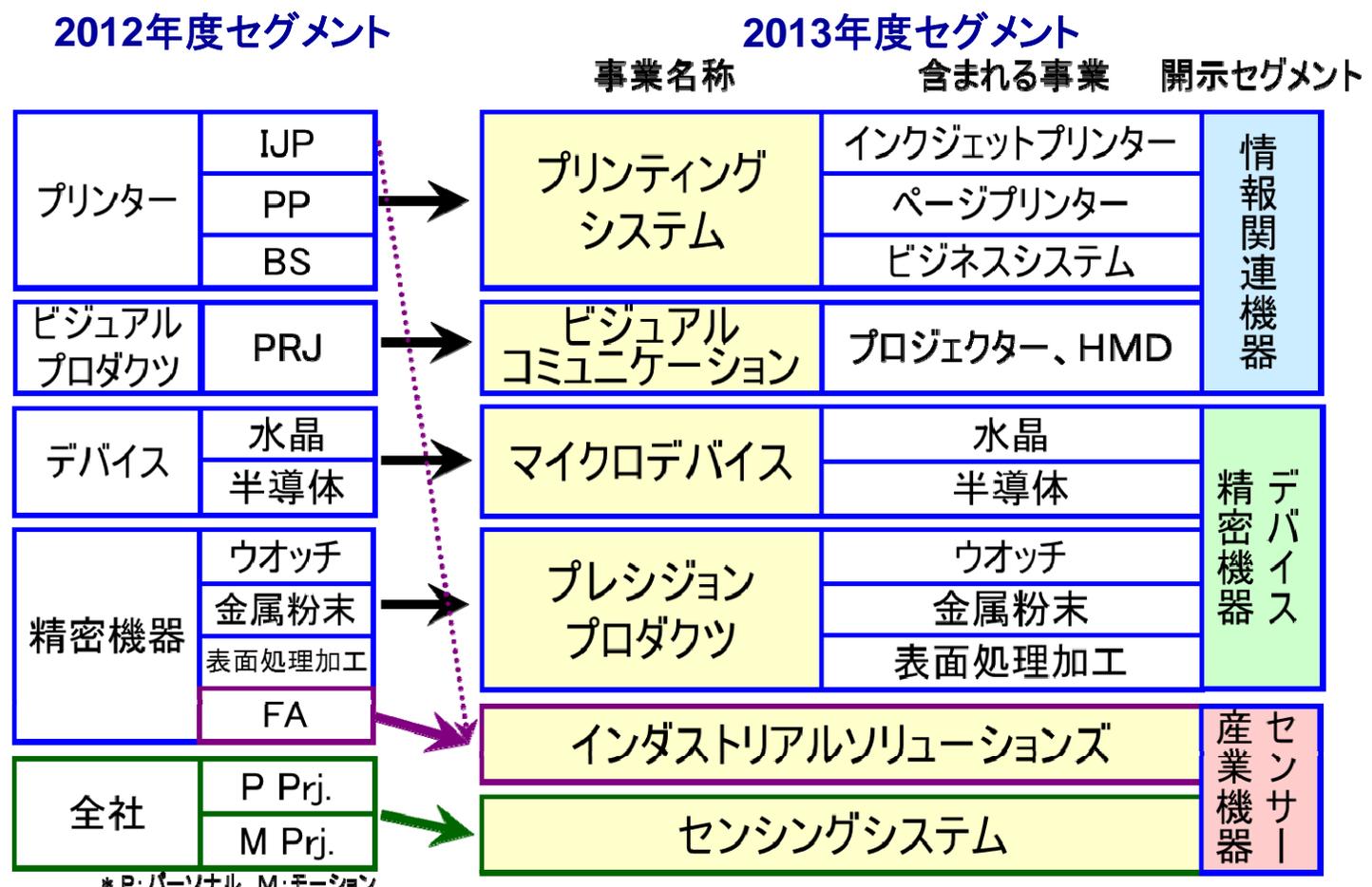
■ 本説明資料における表示方法

数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

開示セグメントの変更について

SE15後期 新中期経営計画の事業戦略にもとづき、
 将来にわたっての成長領域を再定義するとともに各領域における取組みを、
 より明確にして加速させるために、2013年度から組織体制を整える



- 2012年度実績は従来セグメントで説明
- 2013年度予想の比較説明においては、2012年度のセグメント損益もあわせて補正

2012年度通期決算
2013年度業績予想

2012年度
第4四半期決算

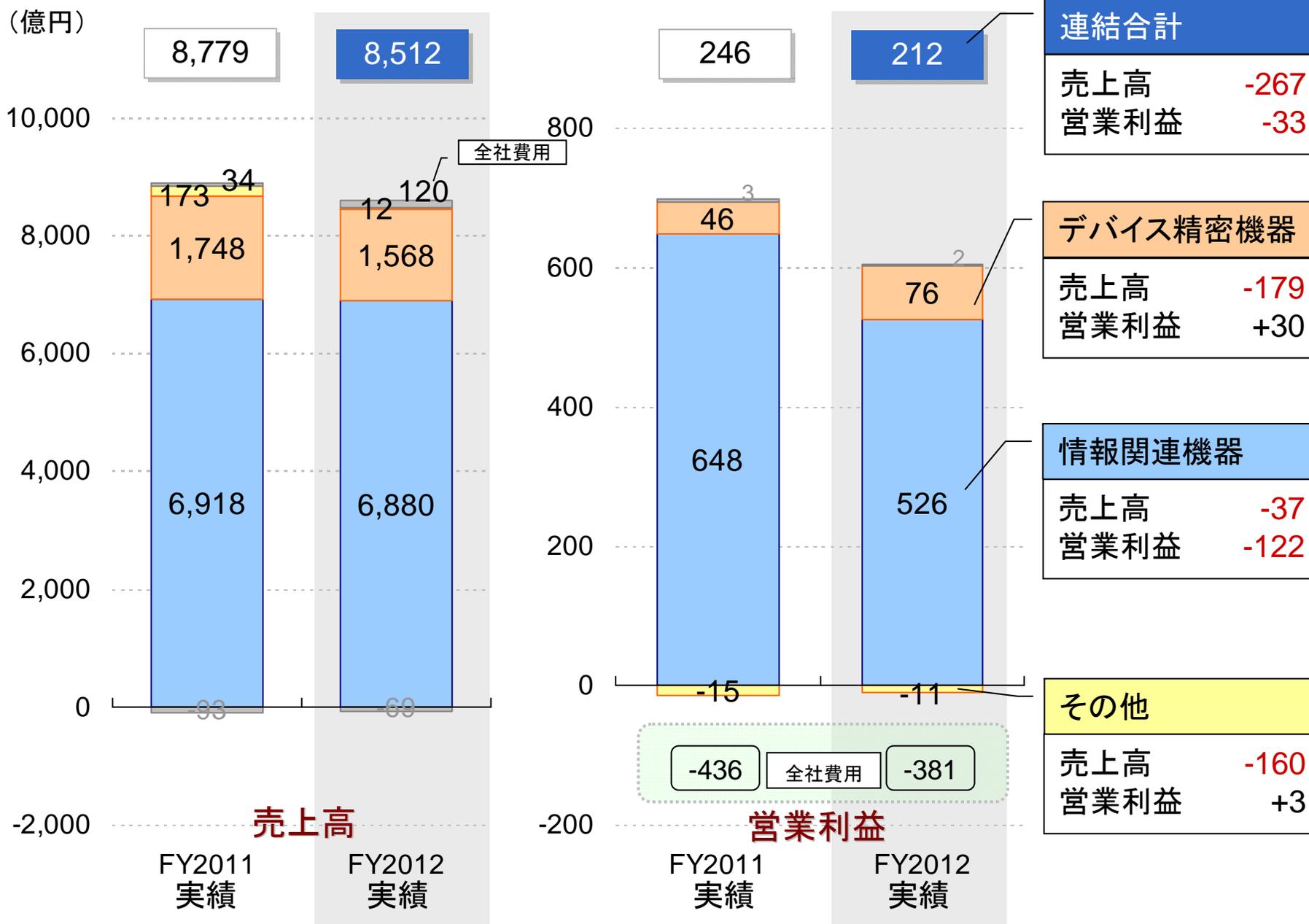
決算ハイライト（通期）



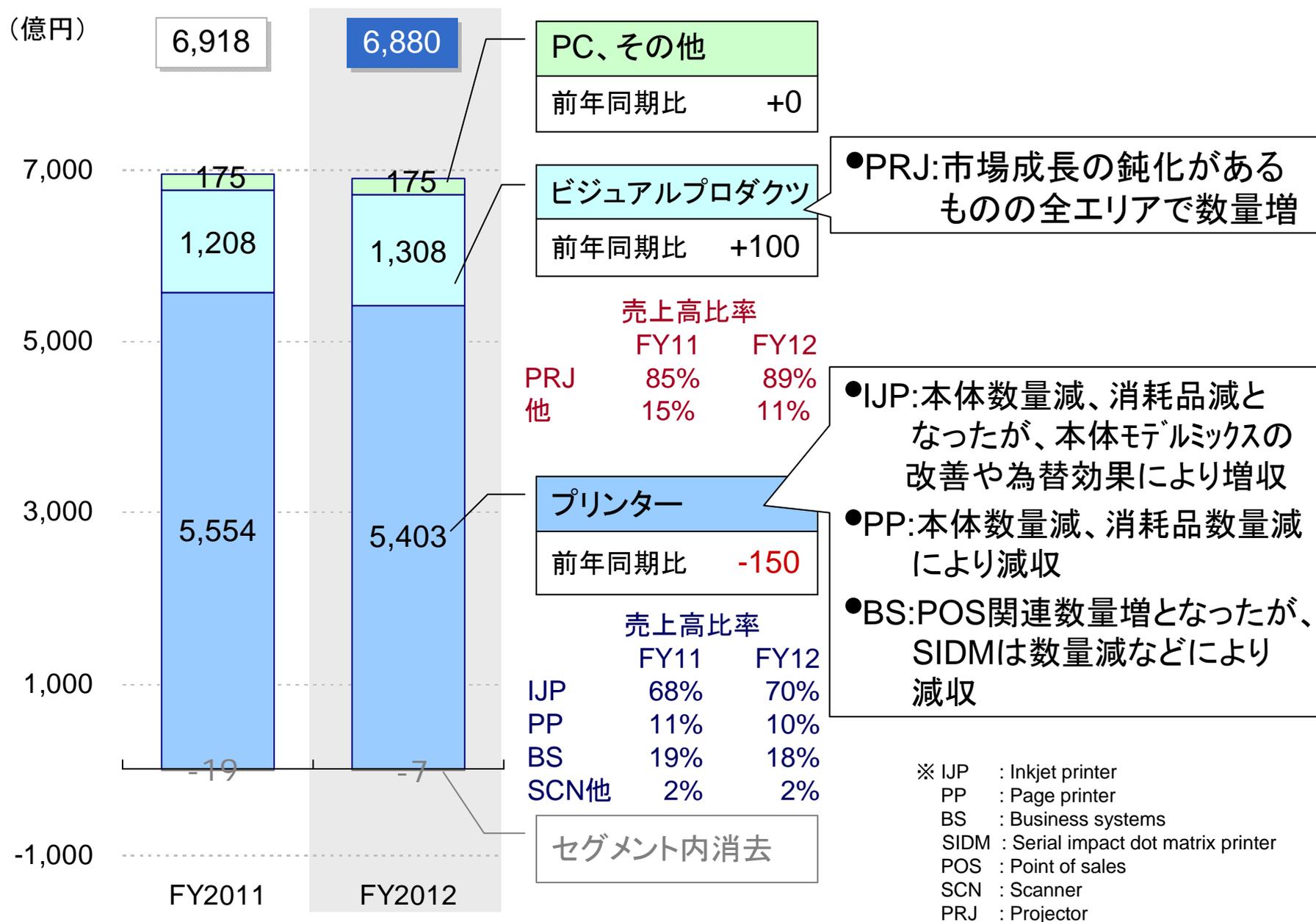
（億円）	2011年度		2012年度				増減額 / 増減率	
	実績	%	1/31予想	%	実績	%	前期実績比	前回予想比
売上高	8,779	-	8,500	-	8,512	-	-267 -3.0%	+12 +0.2%
営業利益	246	2.8%	180	2.1%	212	2.5%	-33 -13.7%	+32 +18.1%
経常利益	270	3.1%	160	1.9%	176	2.1%	-93 -34.8%	+16 +10.2%
税引前利益	156	1.8%	△40	-0.5%	△34	-0.4%	-191 -	+5 -
当期純利益	50	0.6%	△150	-1.8%	△100	-1.2%	-151 -	+49 -
EPS	26.22 円		△83.85 円		△56.41 円			
換算 レート	USD	79.08 円	79.00 円		83.11 円			
	EUR	108.98 円	102.00 円		107.14 円			

前回予想 第4四半期の予想前提レート
USD: 75.00円、EUR: 100.00円

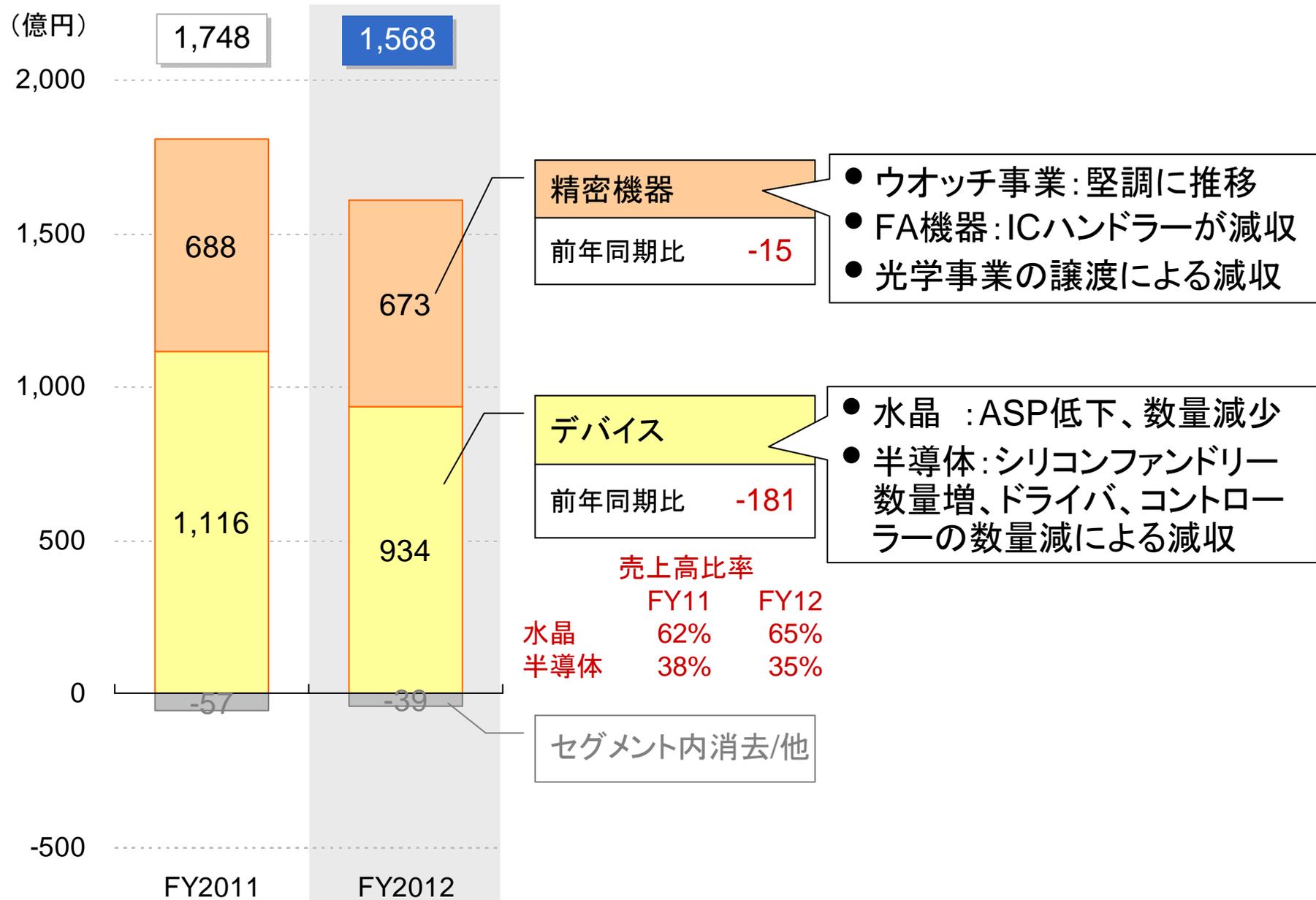
2012年度業績▶事業セグメント別



売上高比較(通期) ▶ 情報関連機器セグメント



売上高比較(通期) ▶ デバイス精密機器セグメント



■ ポイント

- 戦略面において、着実な進捗
 - ✓ IJP事業におけるオフィス向け、大容量インクタンクモデルの拡大など情報関連機器を中心に各事業でのモデルミックス改善への取り組み
 - ✓ デバイス精密機器の要員構造改革の完遂
 - ✓ センサー産業機器を新規事業分野として立ち上げ
- 通期営業利益180億円を予想前提レート(USD:75円、EUR:100円)で達成
- 在庫削減計画を予想前提レートで達成
- フリーキャッシュフローの黒字化

単位: たな卸資産(億円) / 回転日数(日)

	2012/3E	2012/9E	2012/12E	2013/3E	12/9E増減
たな卸資産	1,622	1,810	1,790	1,635	-175
回転日数	68	85	79	70	-15

単位: 億円

	前回予想	実績	予想比
営業CF	280	429	+149
投資CF	-430	-395	+34
FCF	-150	+34	+184

**新中期経営計画初年度の2013年度に向け、
着実な一歩を踏み出した**

2013年度 業績予想



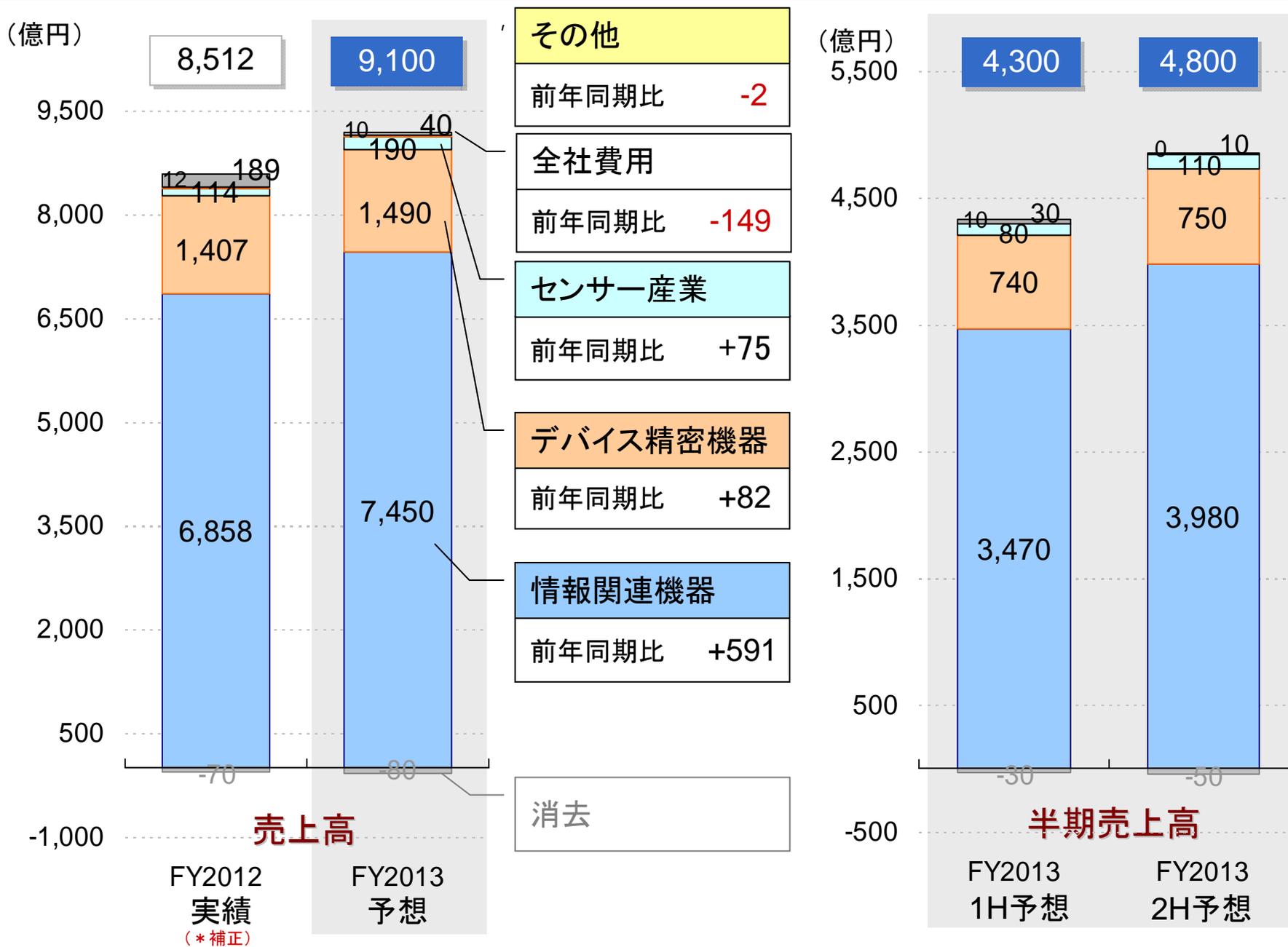
(億円)	2012年度		2013年度		増減	
	通期実績	%	通期予想	%	増減額	増減率
売上高	8,512	-	9,100	-	+587	+6.9%
営業利益	212	2.5%	330	3.6%	+117	+55.3%
経常利益	176	2.1%	300	3.3%	+123	+70.2%
税引前利益	△34	-0.4%	230	2.5%	+264	-
当期純利益	△100	-1.2%	130	1.4%	+230	-
EPS	△56.41円		72.67円			
換算 レート	USD	83.11円	90.00円			
	EUR	107.14円	120.00円			

<ご参考> SE15後期 新中期経営計画
(2013年3月13日発表)

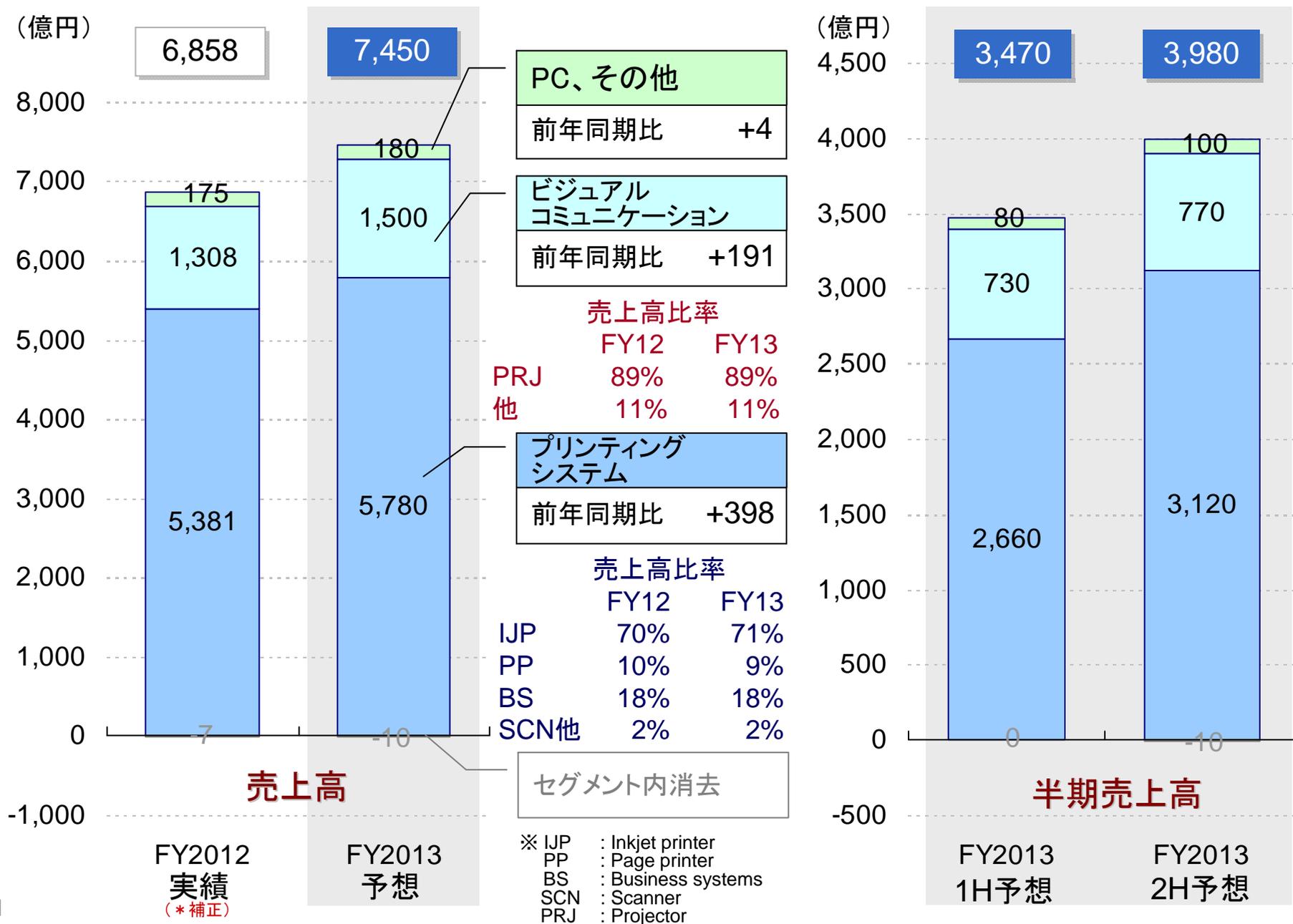
2013年度業績目標

売上高 : 8,900億円
営業利益 : 300億円
(前提レート) USD:85円、EUR:115円

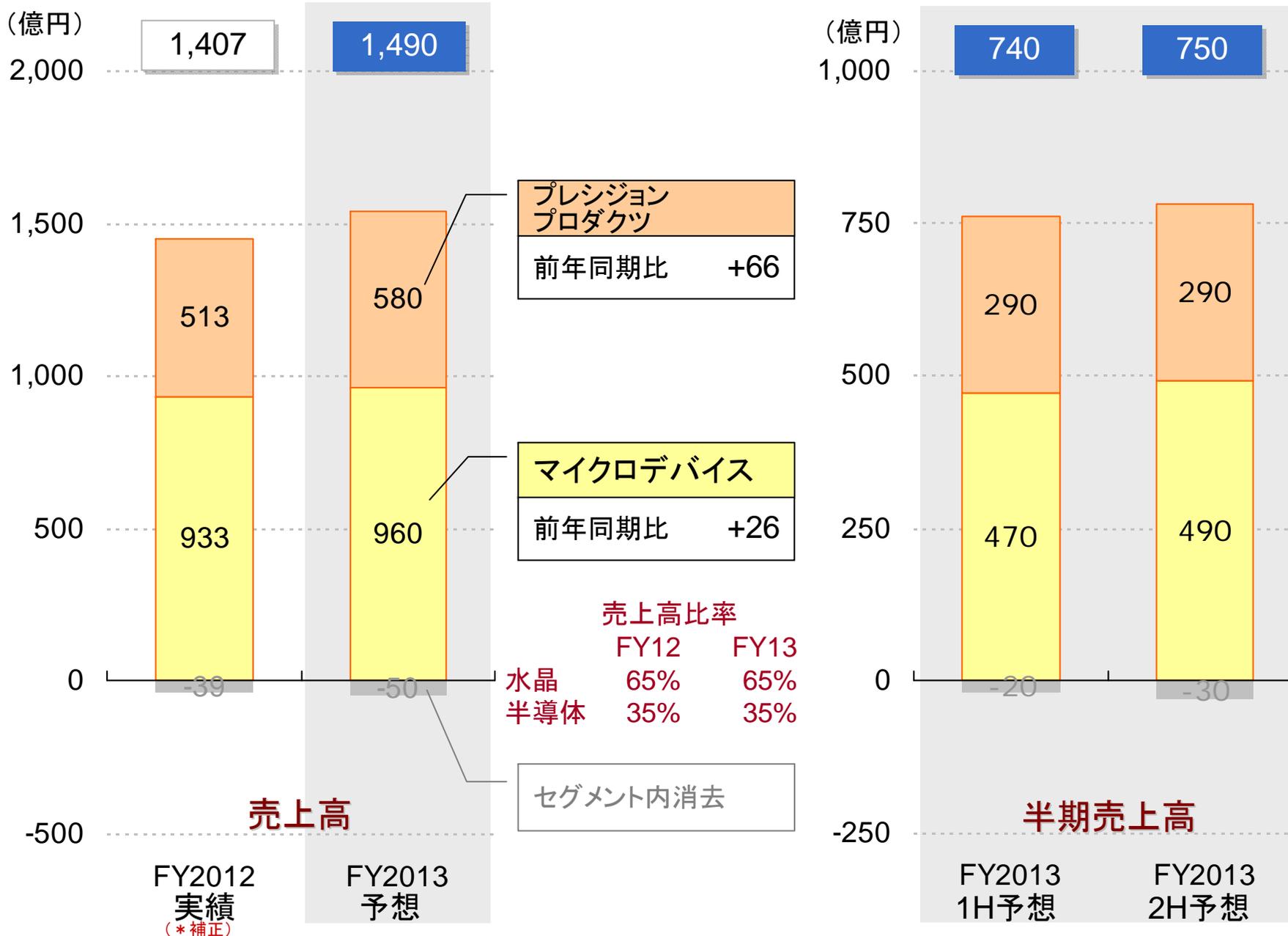
2013年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



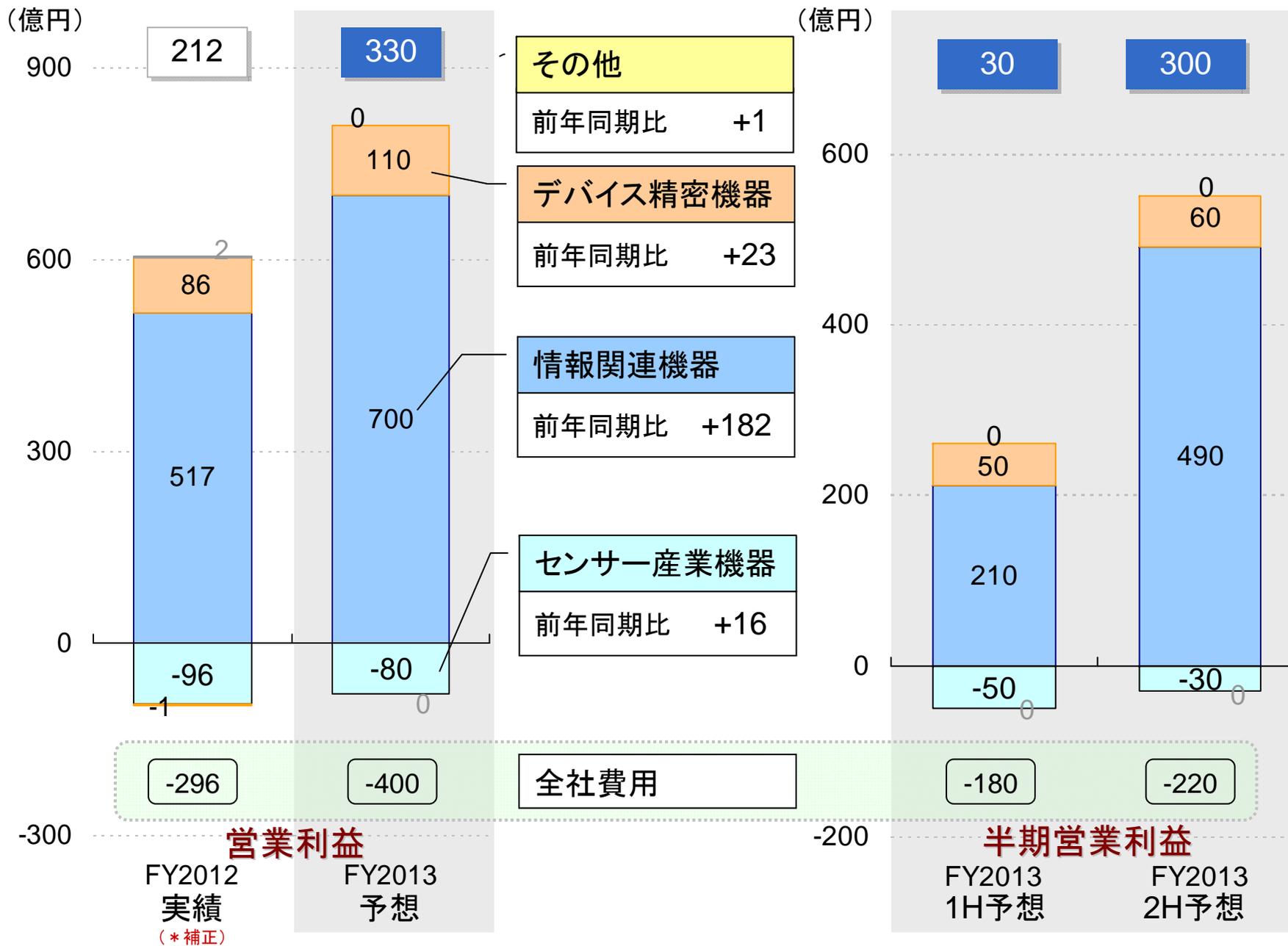
事業別売上高予想 ▶ 情報関連機器セグメント



事業別売上高予想 ▶ デバイス精密機器セグメント



2013年度業績予想(営業利益)▶事業セグメント別



「既存領域の転換と新規領域の開拓を両立させ、着実に利益を創出する」

情報関連機器事業セグメント

インクジェットプリンター

- ✓ ホームならびにオフィス向けのローエンドモデルの絞込み
- ✓ ホーム向けプレミアム領域のプレゼンス向上
- ✓ 新型ピエゾヘッド搭載モデルを中心にオフィス向けラインアップの拡充
- ✓ 大容量インクタンクモデルの拡大
- ✓ ラージフォーマットプリンターにおいて、サイネージ向け製品の北米での本格展開、昇華転写テキスタイルの販売拡大



サイネージ向けプリンター
「Sure Color SC-S30650」



昇華転写テキスタイルプリンター
「Sure Color SC-F6000」

「既存領域の転換と新規領域の開拓を両立させ、着実に利益を創出する」

情報関連機器事業セグメント

ビジネスシステム

- ✓ SIDM市場の急激な成長を期待せず、エマージングでの新規需要や、政府系・銀行系の入札案件の需要取りこみにより安定的な収益確保
- ✓ TMはインテリジェント化、インクジェットによるカラー化で従来のレシート市場に加え、ノンレシート市場を開拓
- ✓ 新規用途提案により着実に収益成長を果たす

プロジェクター

- ✓ オフィス、教育市場向けの既存市場におけるプレゼンスを維持
- ✓ 高輝度分野でのソリューション提案、販売体制構築・強化により事業領域拡大、収益力強化

「既存領域の転換と新規領域の開拓を両立させ、着実に利益を創出する」

デバイス精密機器事業セグメント

マイクロデバイス

- ✓ QMEMSと半導体の融合により、小型化・高性能化を先導

プレジジョンプロダクツ

- ✓ 独自の精密加工技術で他社にできない商品を創出

センサー産業機器事業セグメント

センシングシステム

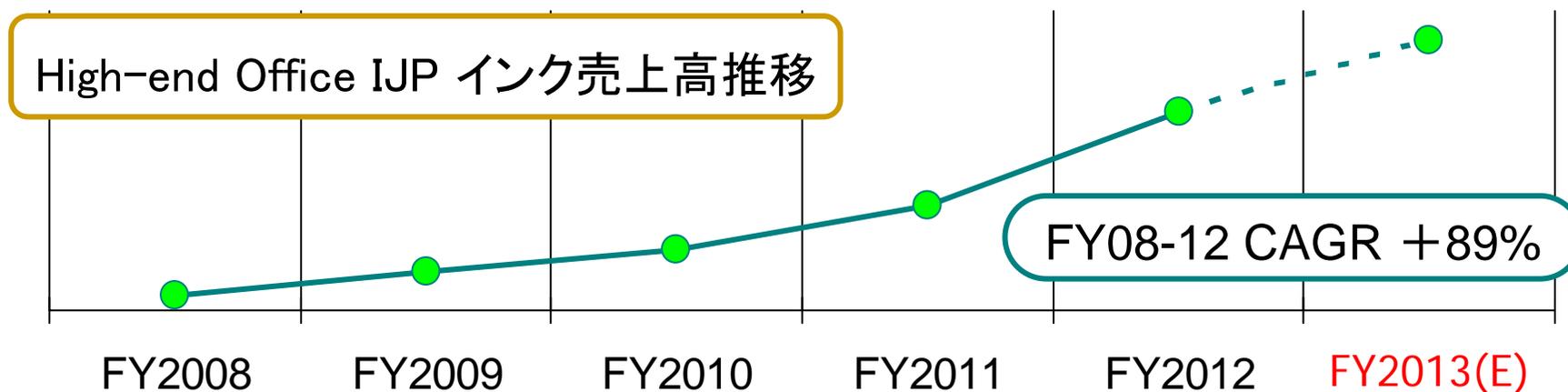
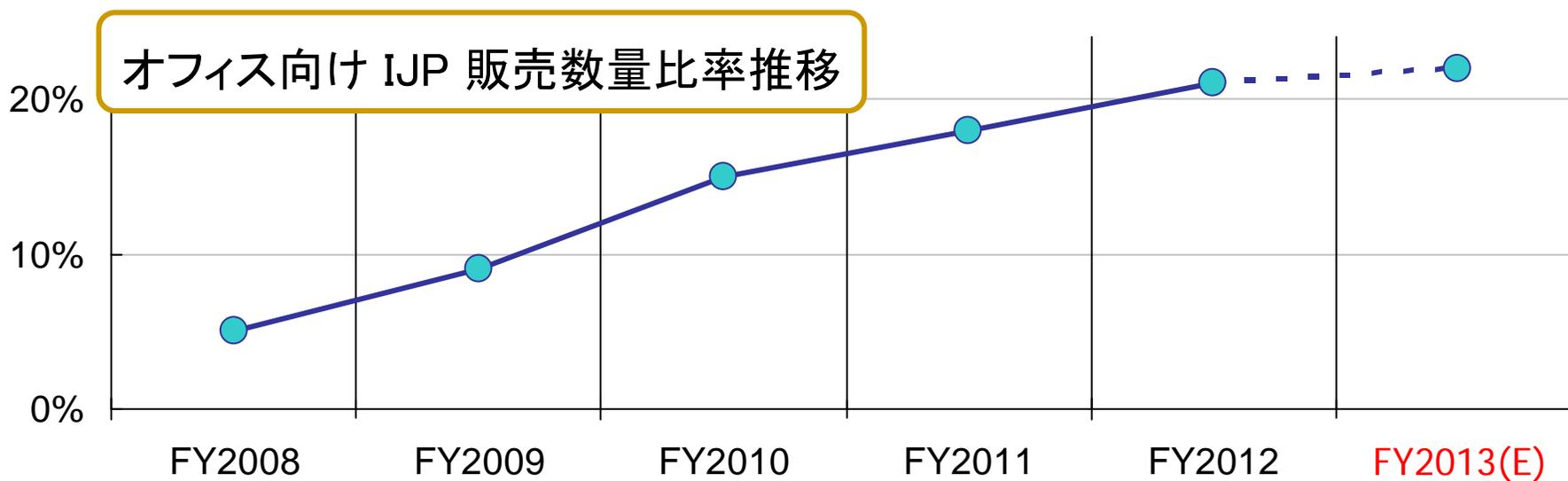
- ✓ 健康、スポーツ、医療、設備・インフラ管理分野において高精度センサーをベースとしたまったく新しい形の人や生活に密着したデータを可視化させ活用する、革新的な情報ツールと価値を提供

インダストリアルソリューションズ

- ✓ ロボットはエマージング市場における需要の取り込み
- ✓ 捺染・加飾印刷などのラインナップ拡充などによる製品力強化

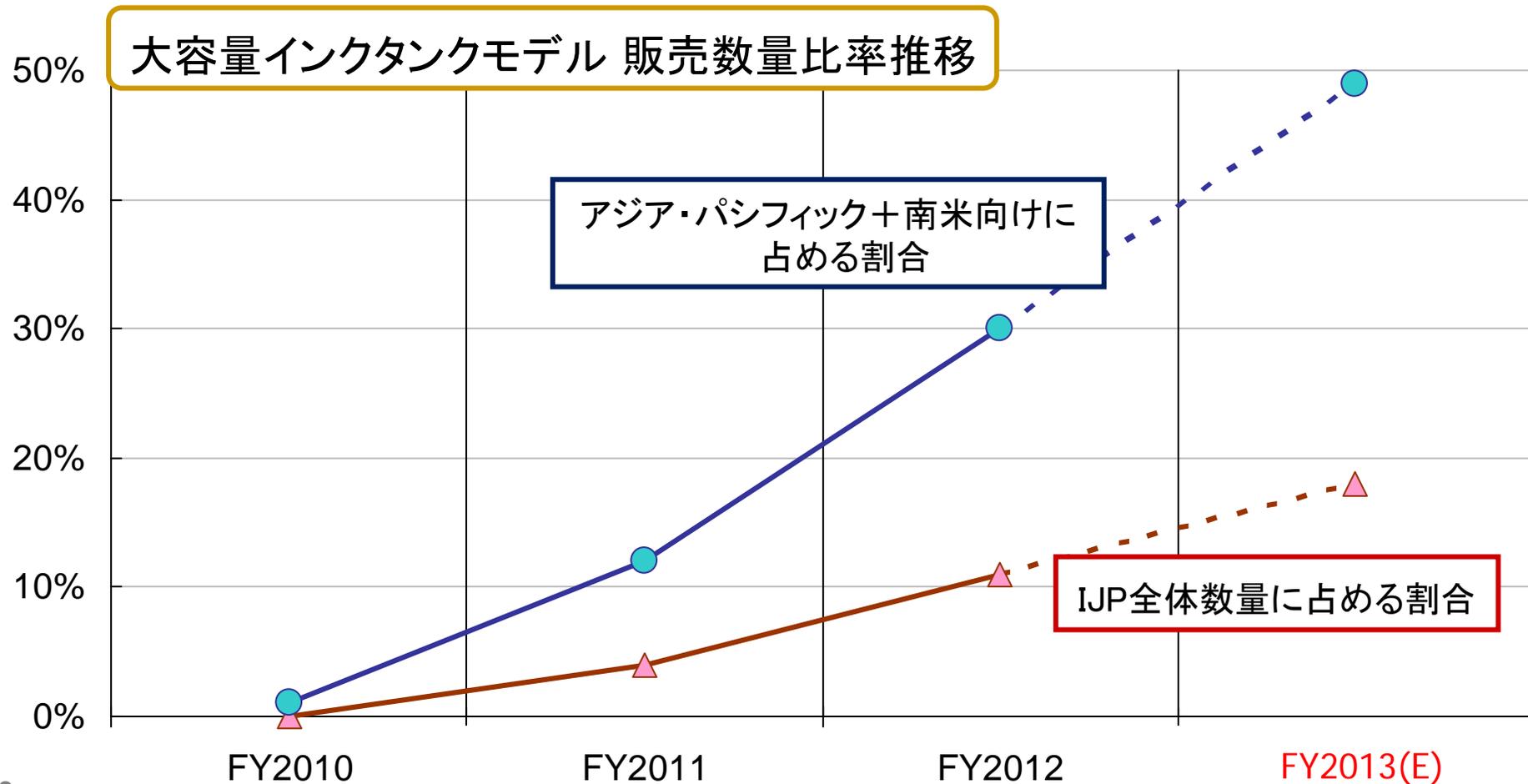
SE15後期 中期経営計画の進捗(1)

- オフィス向けIJP本体のMIF増加により中期的な収益基盤を確立する。2012年度は20%越え。2013年度は急激な数量比率拡大は前提とせず、ラインアップ拡充で着実な数量成長とMIF構成の改善を進める。
- High-end Office IJPのインク売上高伸長率は高水準で推移。



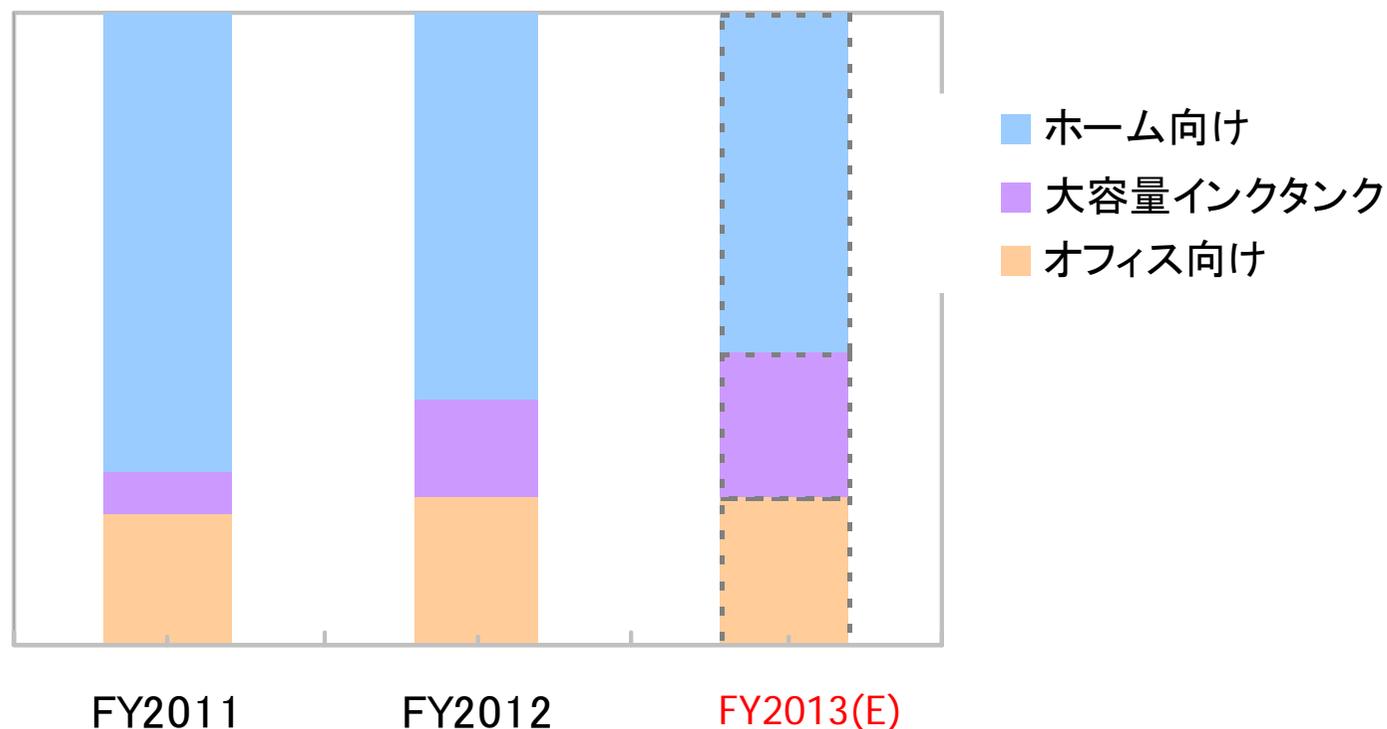
SE15後期 中期経営計画の進捗(2)

- 大容量インクタンクモデルは、アジアパシフィックや南米を中心に順調に販売が拡大、2012年度下期は同地域の販売数量比率は40%超、2013年度は50%近い水準へ。
- これにより同地域の利益率は着実に改善方向へ。



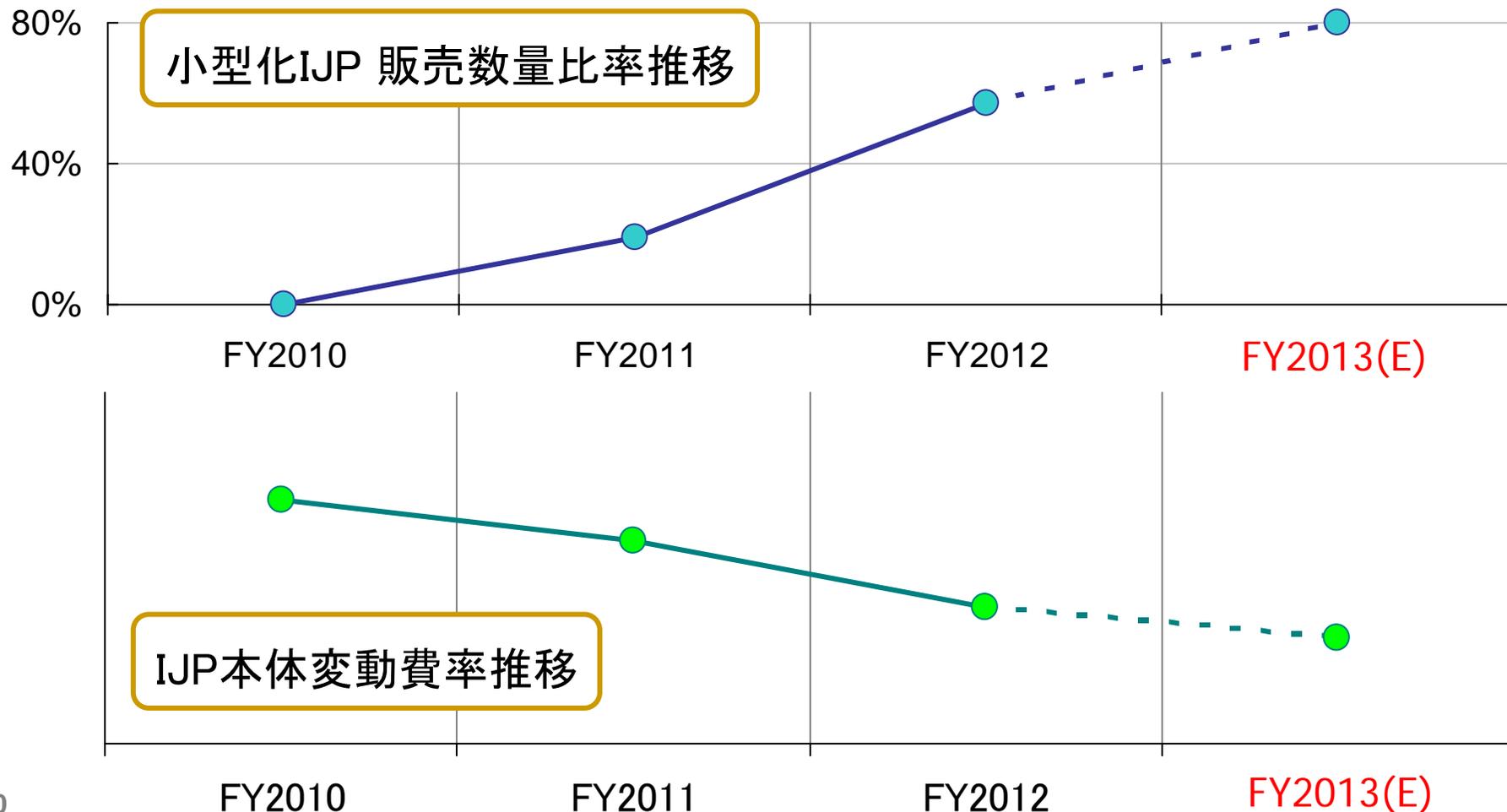
- オフィス向け、ならびに大容量インクタンクモデルの戦略の進捗にともない、本体売上高の中に占める割合が増加。
- ビジネスモデル・商品構成の転換は着実に進行。

モデル別の売上高構成推移



SE15後期 中期経営計画の進捗(4)

- IJP本体小型化モデルの販売比率は着実に拡大し、商品競争力向上の源泉となっている。
- 損益面でも改善効果が表れており、オフィス向け商品の製造が増加する2013年度も着実なコストダウンを見込む。



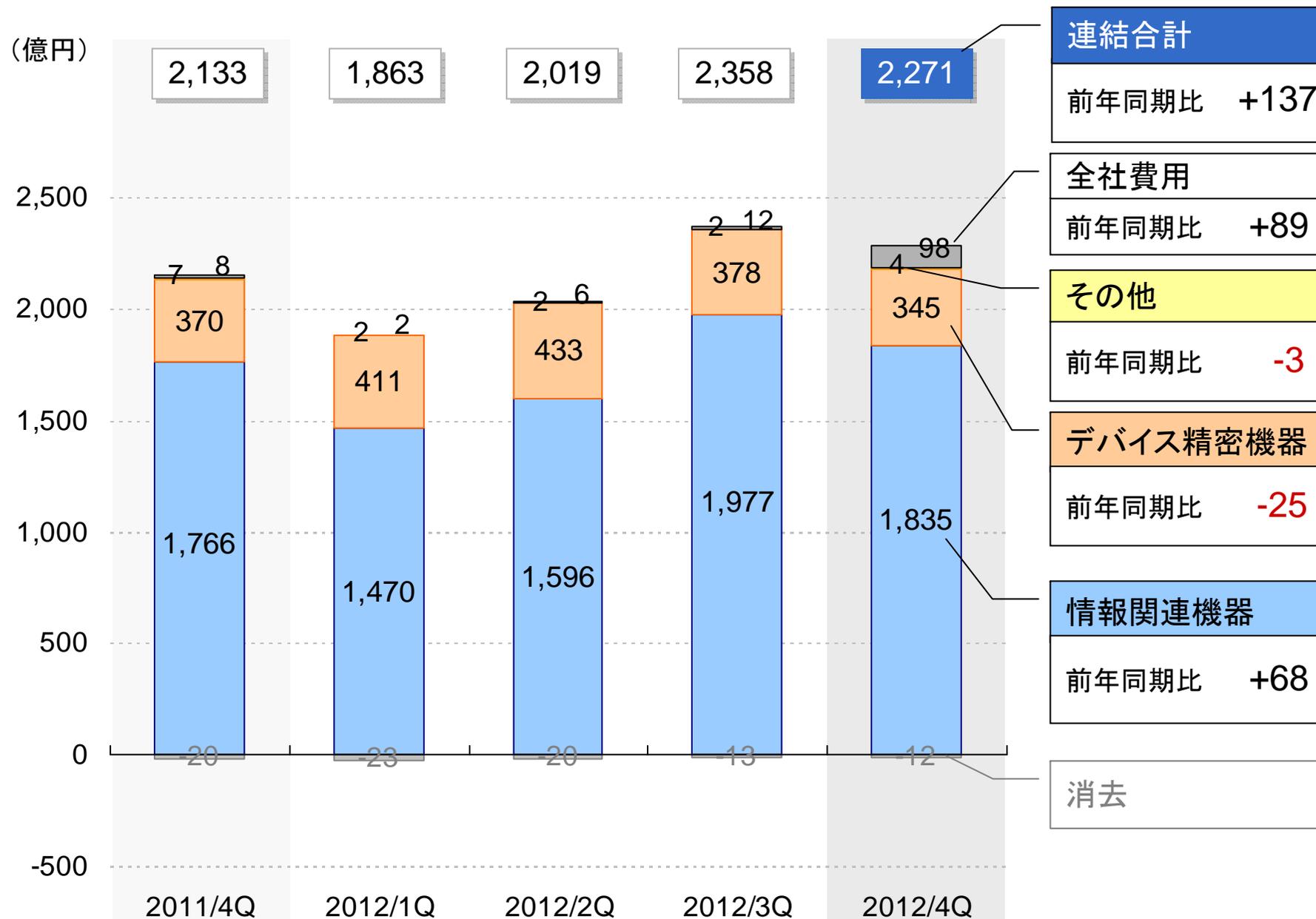
2012年度通期決算
2013年度業績予想

2012年度
第4四半期決算

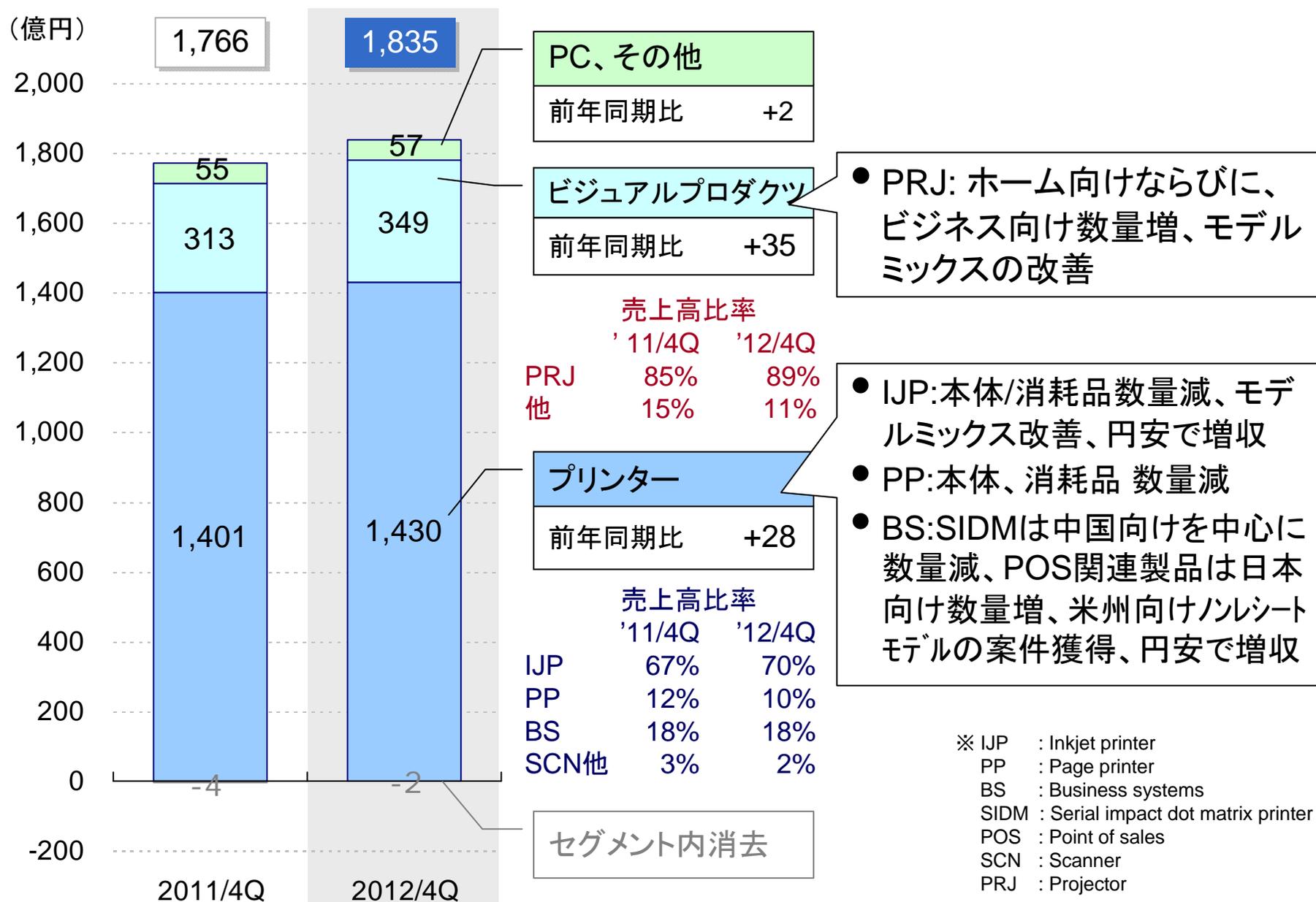
決算ハイライト（第4四半期決算）

(億円)	2011年度		2012年度		増減	
	4Q実績	%	4Q実績	%	増減額	増減率
売上高	2,133	-	2,271	-	+137	+6.5%
営業利益	35	1.7%	94	4.2%	+59	+168.7%
経常利益	55	2.6%	55	2.4%	-0	-0.7%
税引前利益	70	3.3%	△7	-0.3%	-77	-
四半期純利益	46	2.2%	25	1.1%	-21	-45.6%
EPS	25.90円		14.10円			
換算 レート	USD	79.28円	92.42円			
	EUR	103.98円	122.05円			

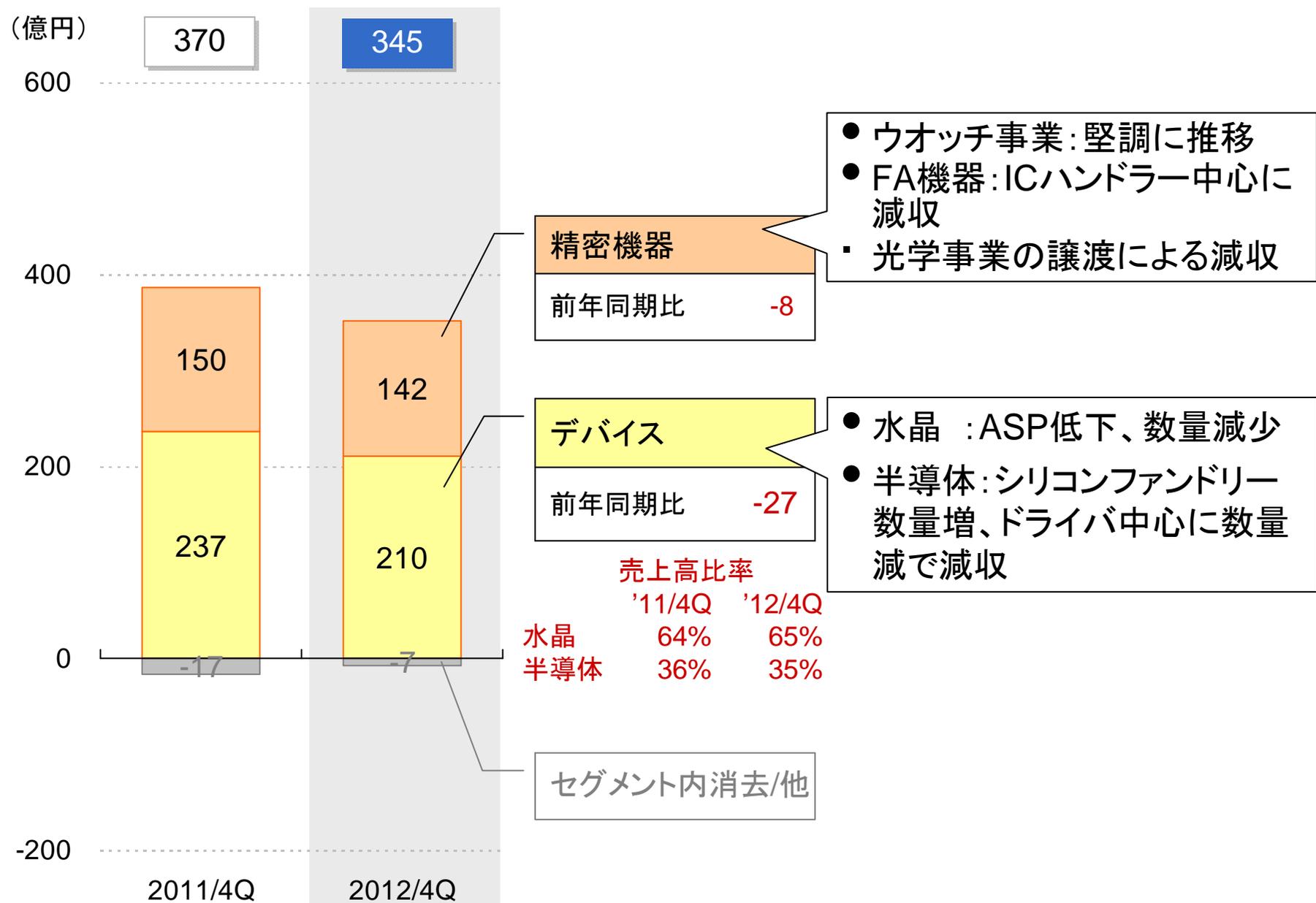
四半期売上高推移 ▶ 事業セグメント別



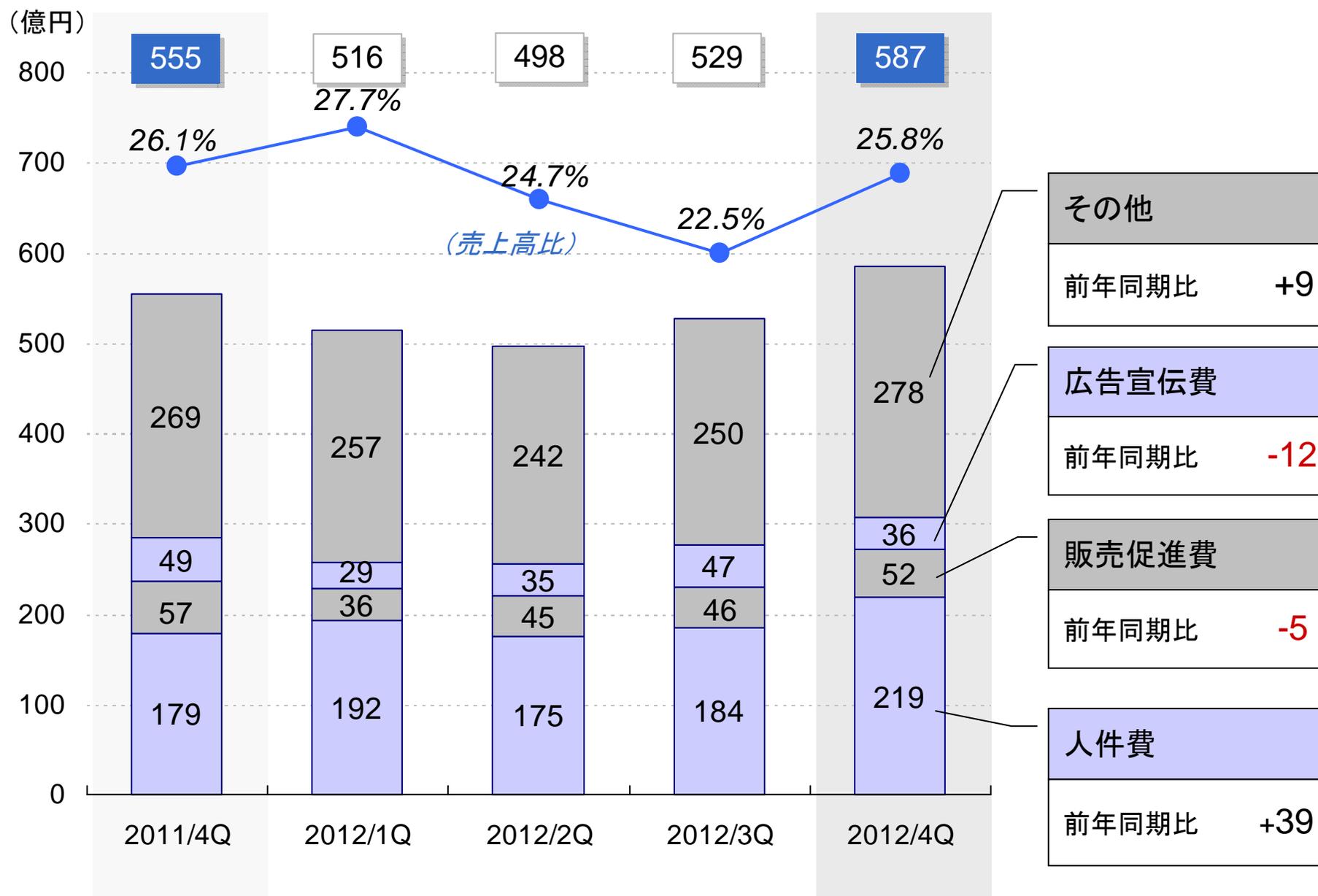
四半期売上高比較 ▶ 情報関連機器セグメント



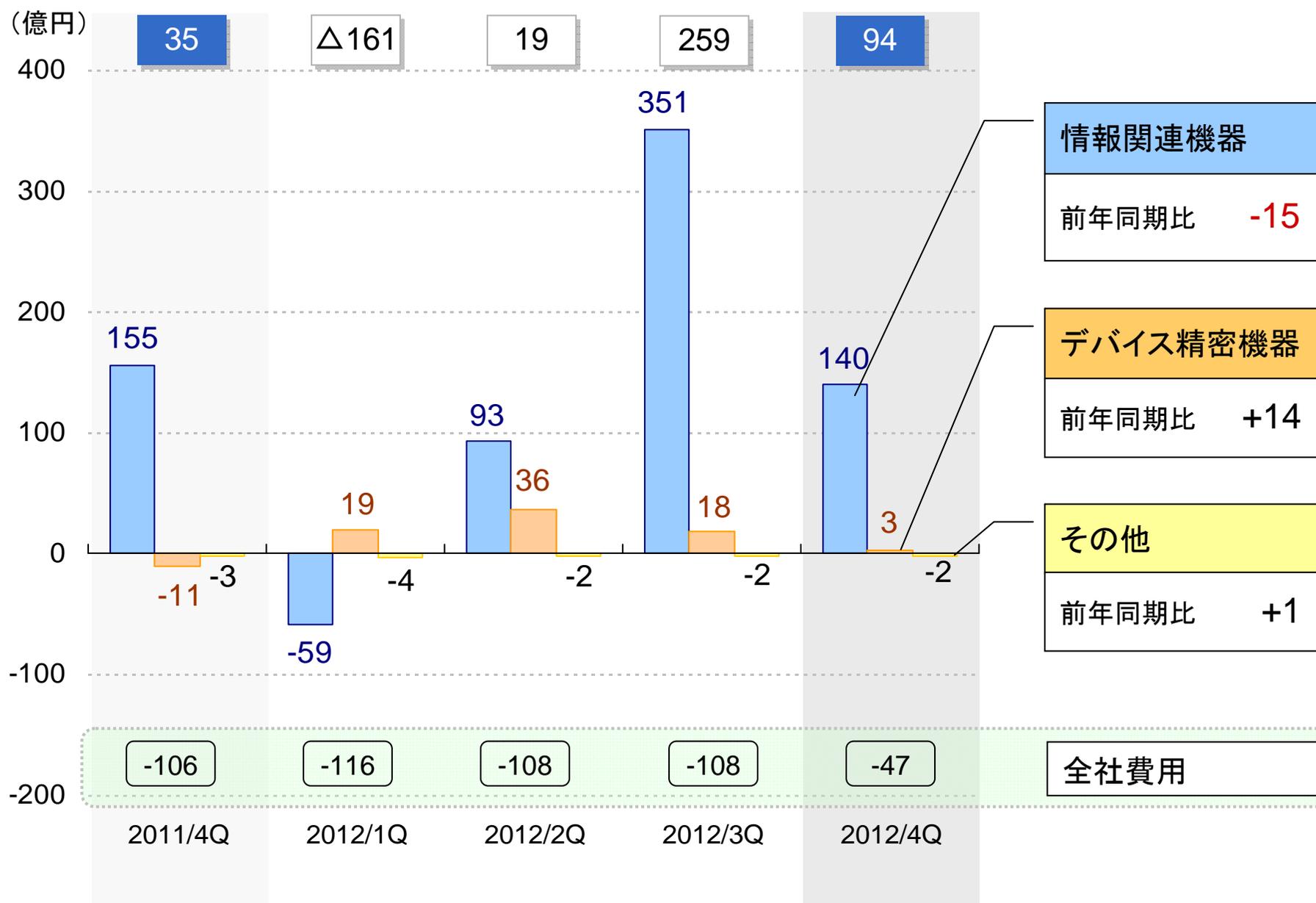
四半期売上高比較 ▶ デバイス精密機器セグメント



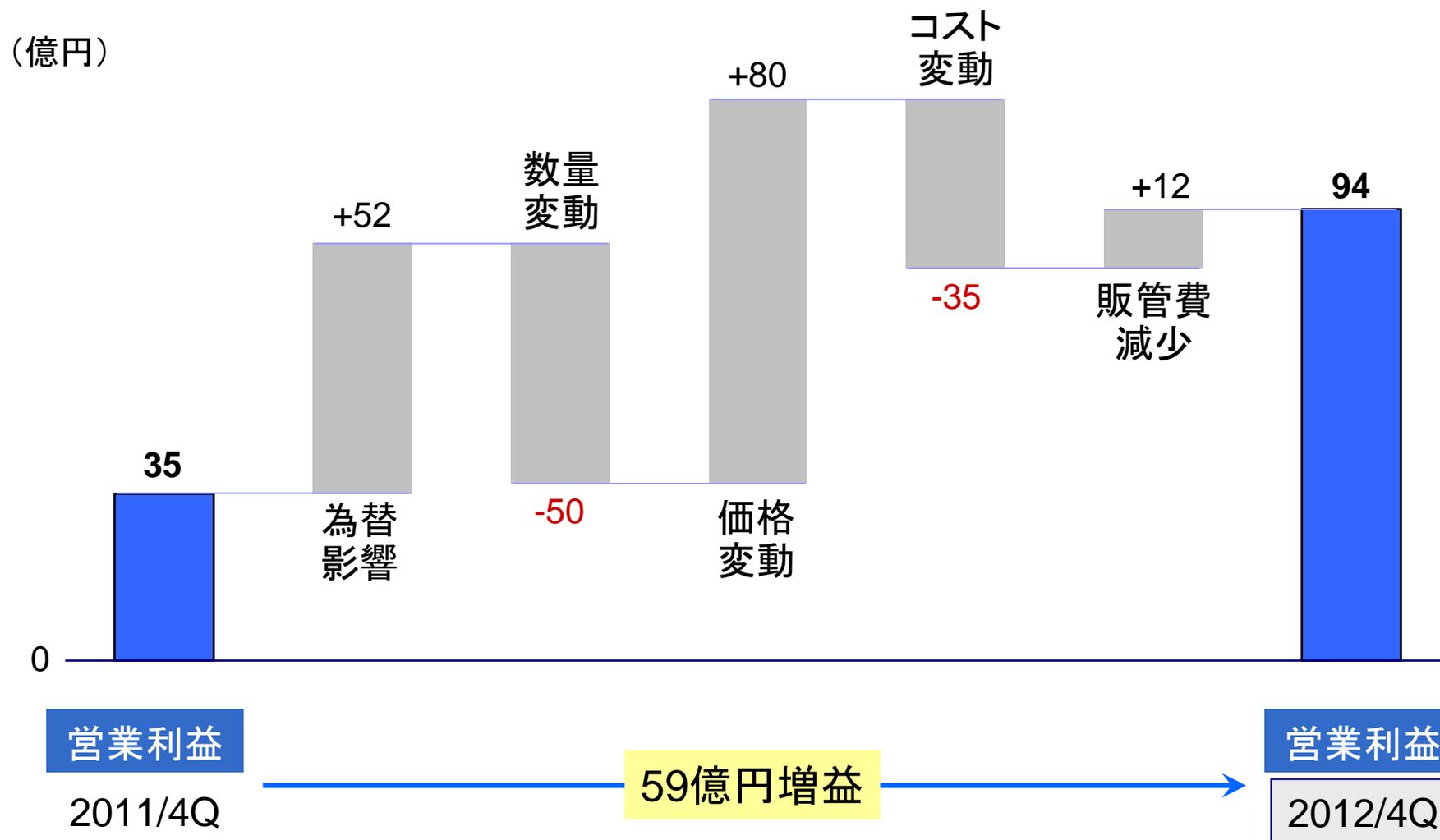
四半期販売費及び一般管理費推移



四半期営業利益推移 ▶ 事業セグメント別

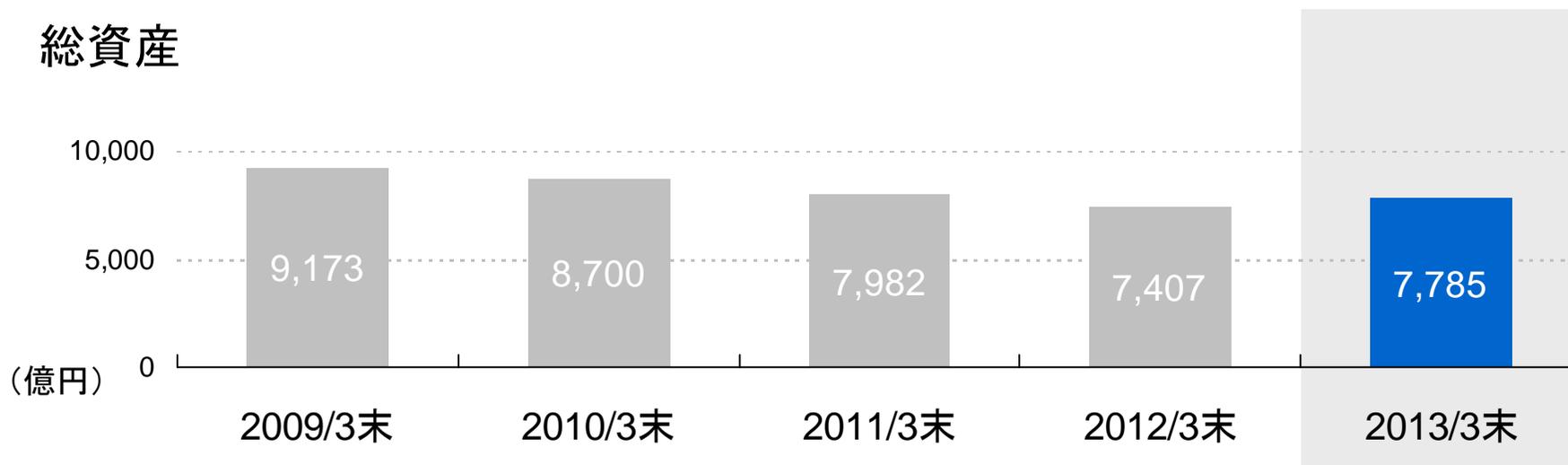


營業利益增減要因分析

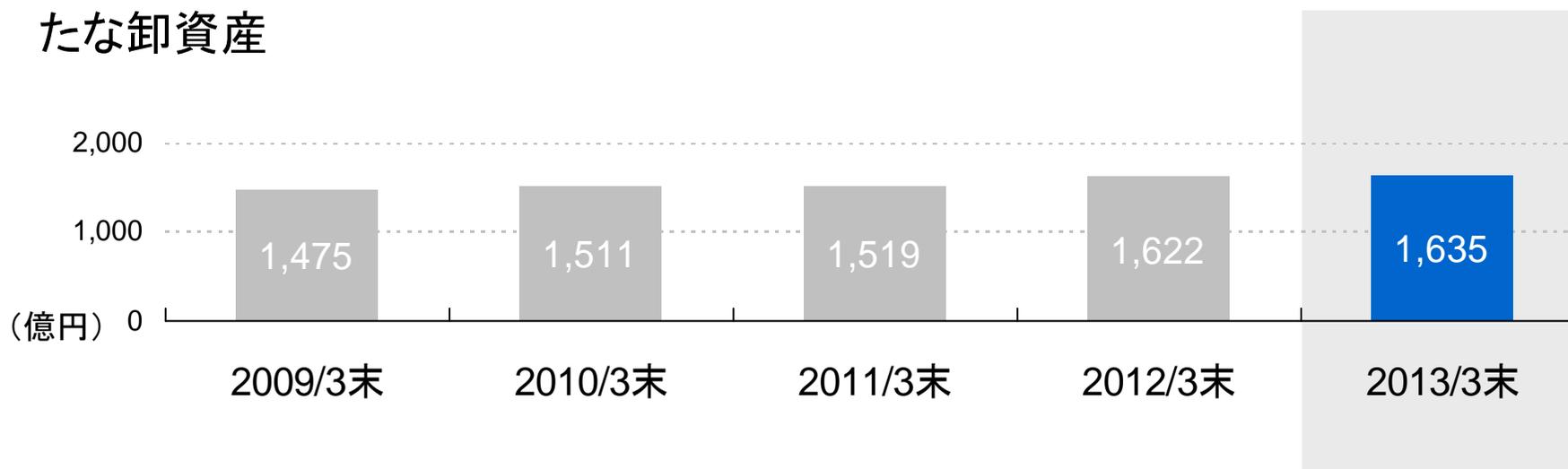


貸借対照表主要項目推移

総資産

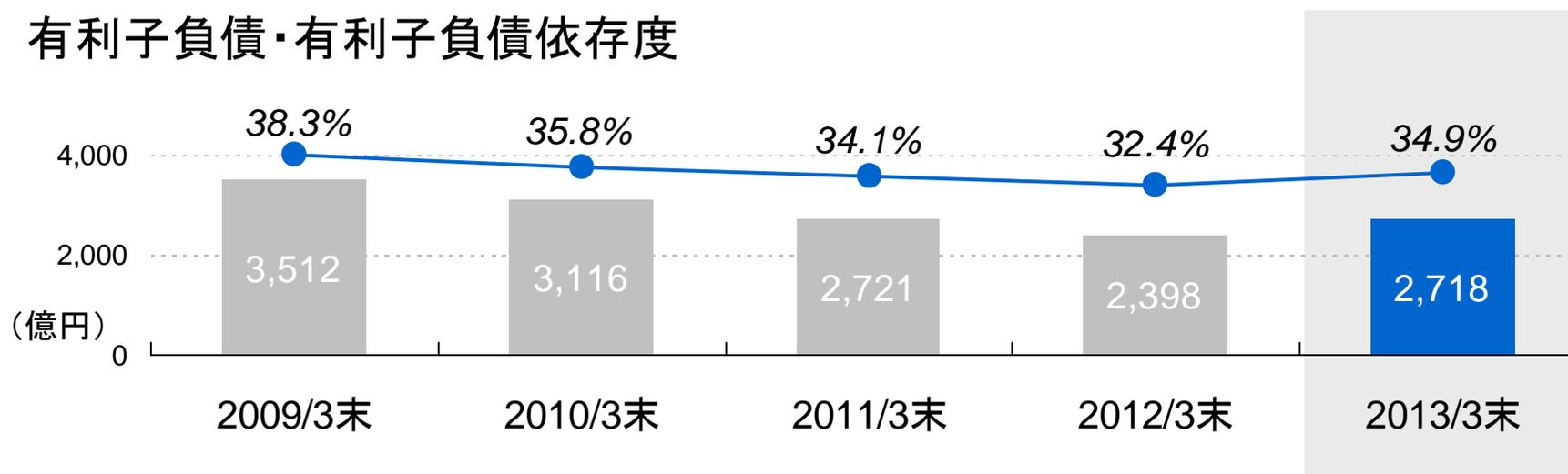


たな卸資産

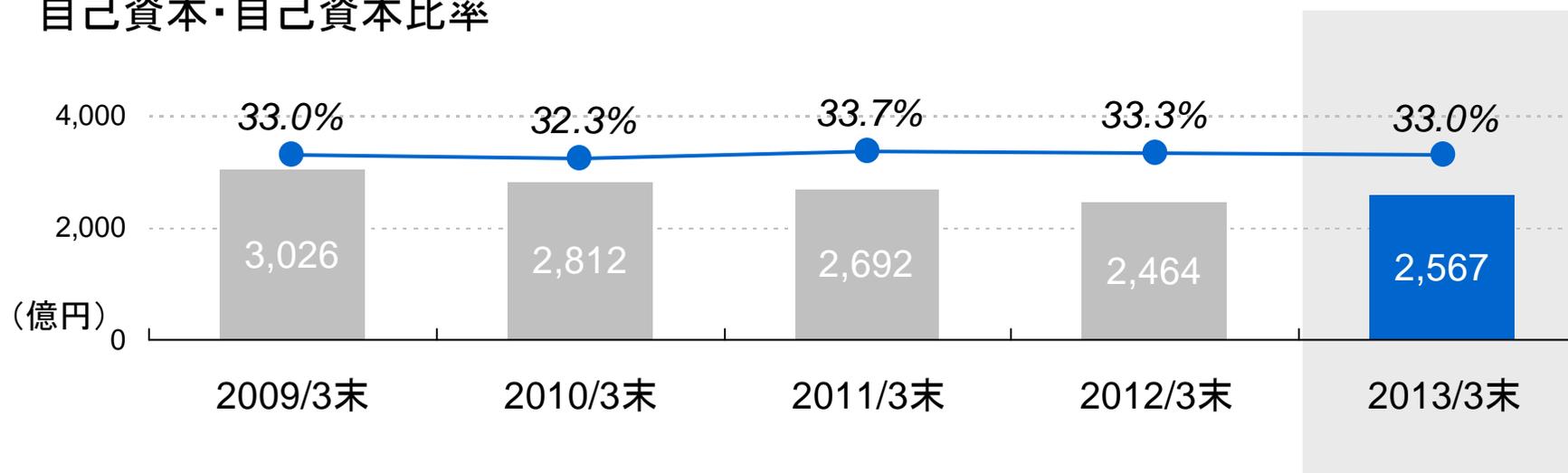


貸借対照表主要項目推移

有利子負債・有利子負債依存度



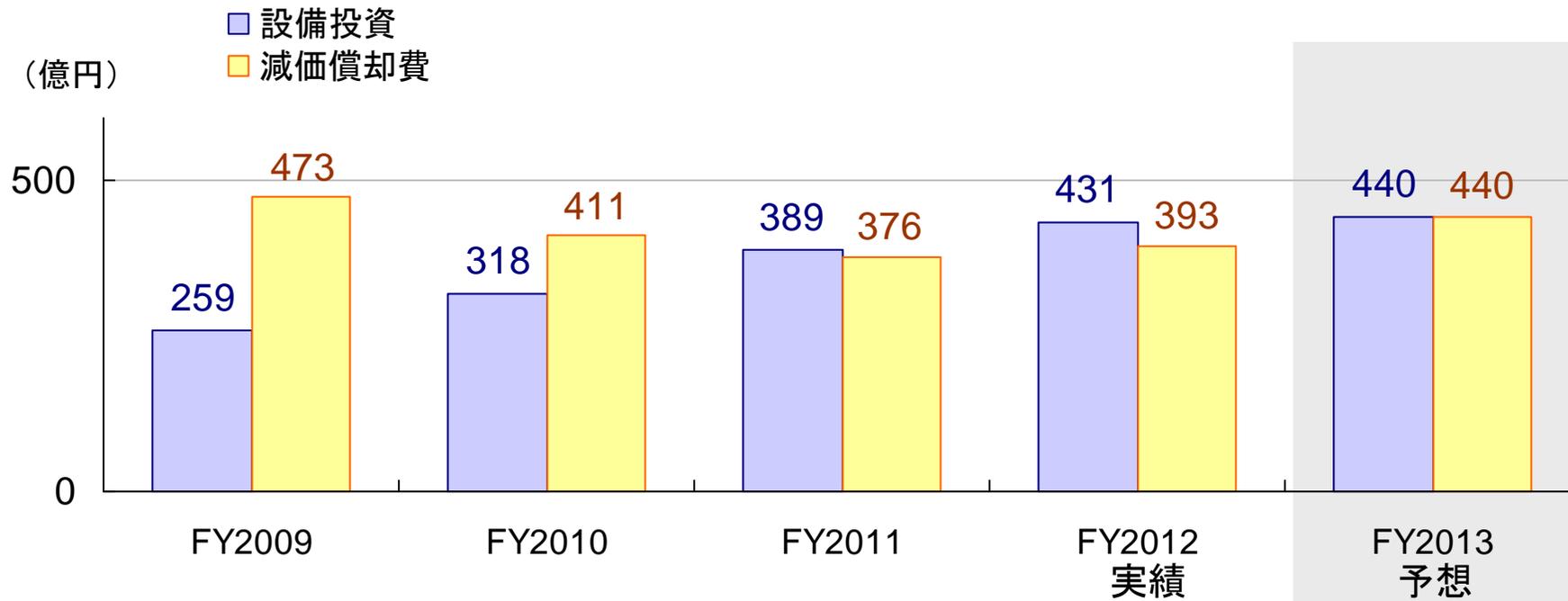
自己資本・自己資本比率



*有利子負債:リース負債を含む

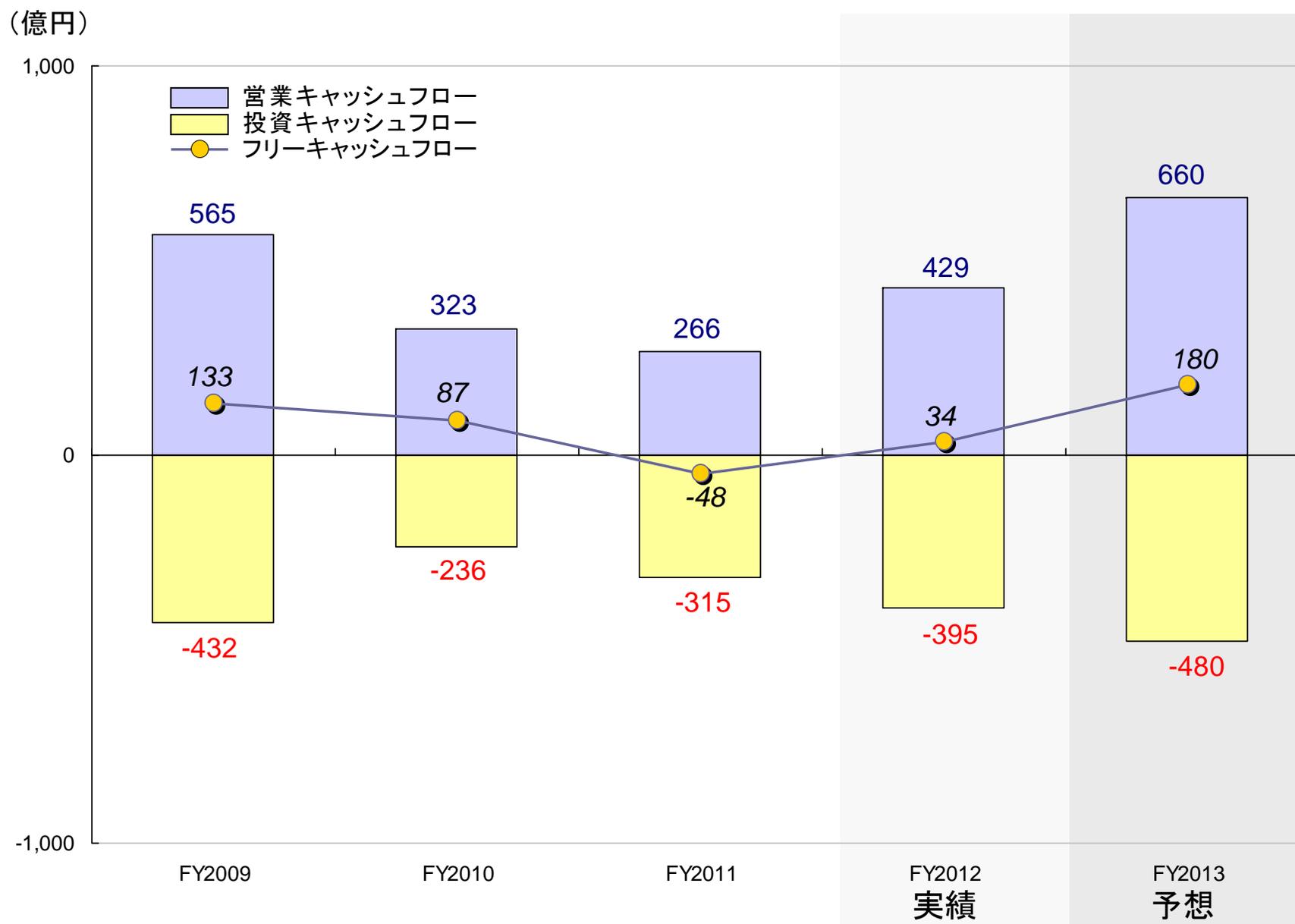
*自己資本:純資産合計-少数株主持分

設備投資・減価償却費予想

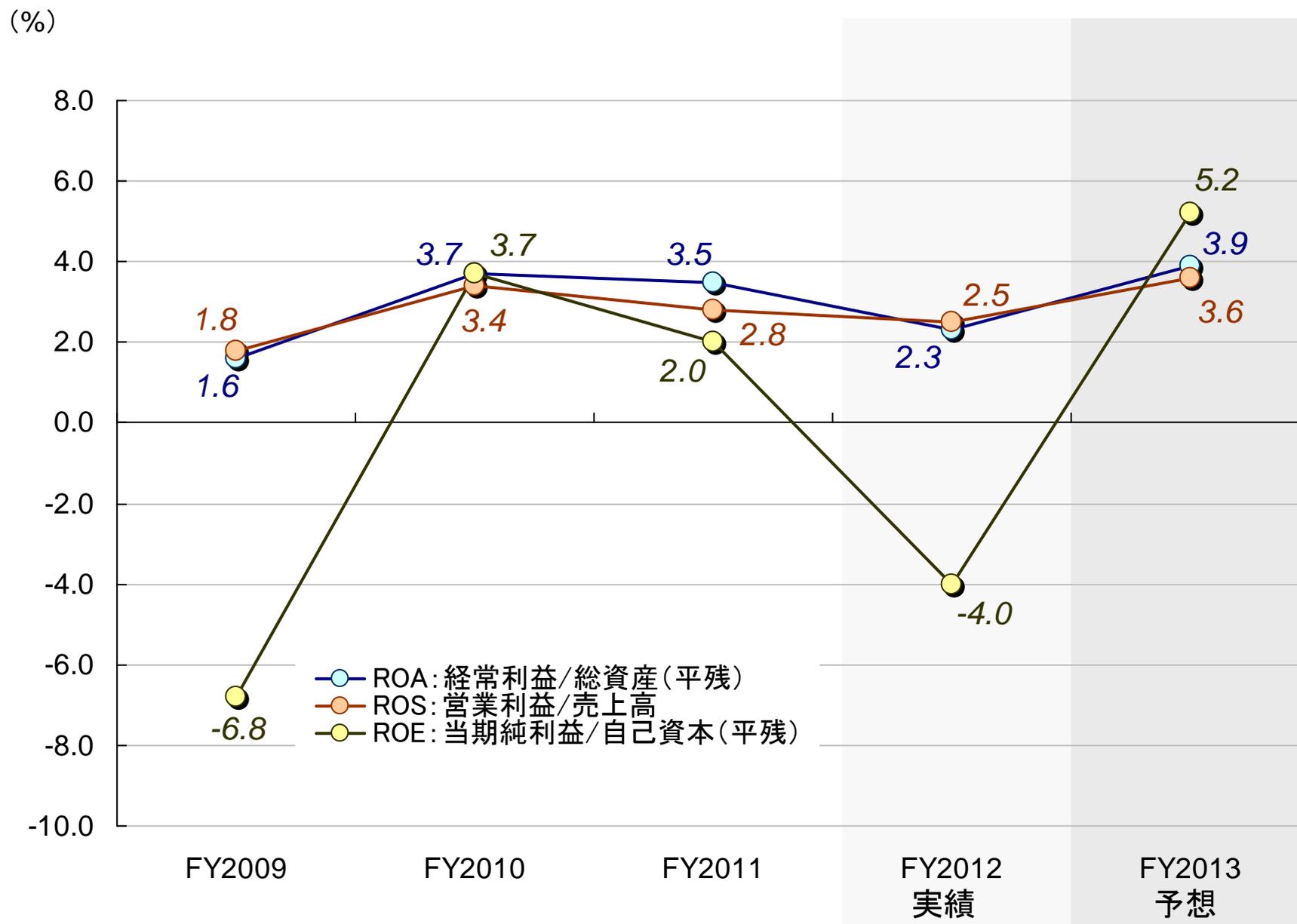


<セグメント別内訳>	FY2012実績		FY2013予想	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
情報関連機器	334	263	300	310
デバイス精密機器	67	80	110	90
センサー産業機器	5	5	10	10
その他・全社費用	24	43	20	30

フリーキャッシュフロー予想



主な経営指標の推移



EPSON
EXCEED YOUR VISION